



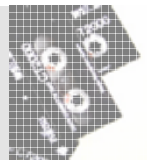
## 第5回SS研大規模SMP運用WG資料

### 添付資料16-1

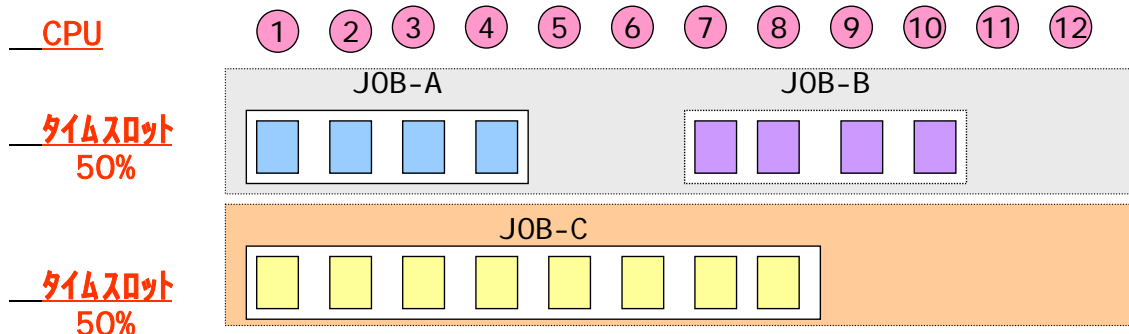
## Share運用での課題に対する回答

2006年2月17日  
富士通株式会社

## SHARE運用での資源割当



**使用目的：** 高並列JOBの場合、CPU使用率が低いケースがあり、その空き時間を有効利用したい。  
**課題：** 並列JOBをSHAREで運用するとタイムスロットのフラグメンテーションで期待していた資源割当てができない



JOB-AorJOB-Bをタイムスロット1に移動できれば、JOB-Dが実行可能になる

**次の実行待ちJOB** JOB-D

# SHARE運用の推奨モデル



## 推奨：並列JOBと逐次JOBのSHARE運用

- フラグメントで並列JOBが割当てられない部分を逐次JOBで埋める方式。
- 並列JOBがSLEEP中、スロット外でも逐次JOBは走行可能。

タイムスロット間で自動的にJOBマイグレートは困難

例：1並列JOBのCPU配分率：50%、1逐次JOBのCPU配分率：50%

